

# 鷗外・ミーツ・アーティスト—観潮楼を訪れた美術家たち

ドイツ留学中、洋画家・原田直次郎との出会いに始まる鷗外の美術への関心は、鷗外を美術批評の場に立たせ、美術家たちとの交流を広げるきっかけとなりました。美術家たちにとって鷗外は、厳しい批評者であると同時に良き理解者でした。一方、鷗外にとって美術家たちは、仕事仲間であり創作の源泉となる存在でもあったのです。

鷗外と交流のあった美術家たちの中から、鷗外の居宅・観潮楼（現・文京区立森鷗外記念館）を訪れた美術家に、100年以上の時を経て再び集まってもらいましょう。鷗外が作品を評価した洋画家・藤島武二、鷗外作品のモデルになった水彩画家・大下藤次郎、東京美術学校で鷗外の講義を受けた彫刻家・高村光太郎、鷗外著書の装丁を多数手がけた洋画家・長原孝太郎...。美術界における旧派と新派、あるいは明治美術会から白馬会、太平洋画会との価値観がせめぎ合う中で、鷗外は彼らにどのような眼差しを向けてきたのでしょうか。そして美術家たちの眼は鷗外とその作品に何を見出したのでしょうか。観潮楼に届いた美術家たちの書簡、鷗外旧蔵の美術品、鷗外作品を彩った装丁本などを通して、「鷗外が見つめた美術家」と「美術家が見つめた鷗外」に迫ります。

## 展示関連講演会

### 「鷗外が嘱望した洋画家藤島武二」

講師 児島薫氏（実践女子大学教授）  
日時 2018年2月24日（土）14時～15時半  
会場 文京区立森鷗外記念館 2階講座室  
定員 50名（事前申込制）  
料金 無料（参加票と本展覧会観覧券（半券可）が必要）  
申込締切 2018年2月9日（金）必着

### 申込方法

#### 【往復はがき】

往信に「2月24日講演会」・氏名（ふりがな）・住所・電話番号を、返信用には、住所・氏名を明記の上、〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4 文京区立森鷗外記念館「展示関連講演会」受付係 までご応募ください。

#### 【Eメール】

件名に「2月24日講演会」、本文に氏名（ふりがな）・電話番号・Eメールを明記の上、[bmk-event@moriogai-kinenkan.jp](mailto:bmk-event@moriogai-kinenkan.jp) にご応募ください。

※申し込みは、1通につき1名様（お一人様1通まで）、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。  
※ご不明な点等ございましたら、文京区立森鷗外記念館にお問い合わせください。

## ギャラリートーク

展示室にて当館学芸員が展示解説を行います。

2018年1月24日、2月7日、2月28日、3月14日

いずれも水曜日14時～（30分程度）

※申込不要、展示観覧券が必要です。

## 鷗外作品のブックデザインを楽しむ！

展示室にて、当館学芸員が鷗外作品の装丁について解説を行います。

2018年3月21日（水・祝）11時～（30分程度）

※申込不要、展示観覧券が必要です。

## 同時開催

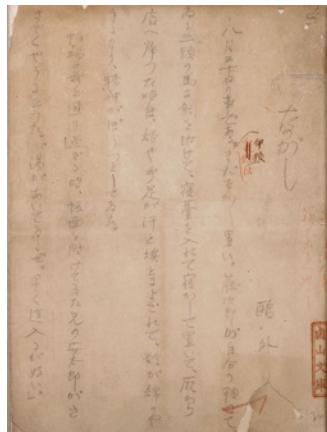
### コーナー展示「父への想い～森於菟紹介」

コレクション展開催中のコーナー展示として、2017年に没後50年を迎えた鷗外の長男・於菟の資料を展示します（会場・展示室1）。

※通常展観覧券で、コレクション展と共にご覧いただけます。

## 鷗外誕生日記念行事

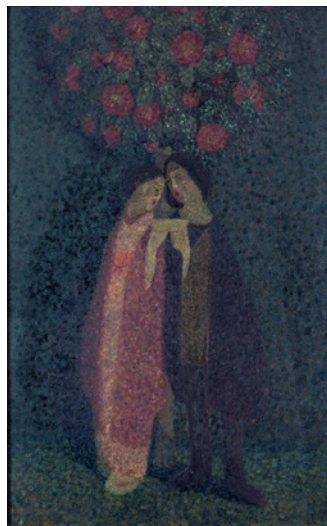
鷗外156回目の誕生日を記念して、2018年1月19日（金）は、無料で展覧会を観覧いただけます。



鷗外自筆原稿「ながし」  
大下藤次郎が遺した手記「ぬれきぬ」を基に執筆した。



岡田三郎助《巴里風景画》  
岡田の結婚の際、鷗外に贈られたといわれる。



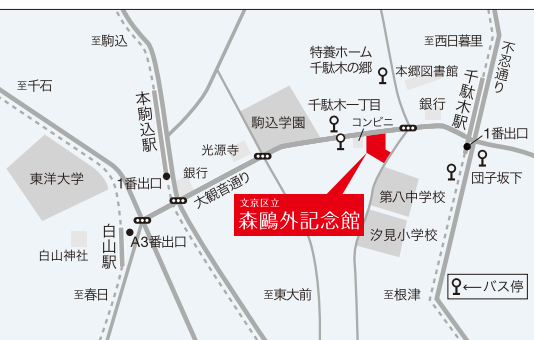
宮芳平《歌》  
鷗外が小説『天龍』を執筆した大正4年、宮から購入した作品。



鷗外訳「寂しき人々」  
明治44年 金尾文淵堂  
装丁：藤島武二  
ドイツ近代劇作家・ハウプトマンの戯曲の翻訳。



平福百穂《鷗外博士》  
久保田万太郎の句と共に描かれた鷗外の肖像。



## 交通案内

### 【電車】

- ・東京メトロ千代田線「千駄木」駅 1番出口→徒歩5分
- ・東京メトロ南北線「本駒込」駅 1番出口→徒歩10分
- ・都営三田線「白山」駅 A3番出口→徒歩15分

### 【バス】

- ・都営バス草63番系統「千駄木一丁目」下車→徒歩1分
- ・都営バス上58番系統「団子坂下」下車→徒歩5分
- ・B-ぐる千駄木・駒込ルート「18特別養護老人ホーム千駄木の郷」下車→徒歩5分

※一般の駐車場がございませんので、上記の公共交通機関をご利用ください。

表面ポートレイト（左から）：  
久米桂一郎（久米美術館蔵）、  
宮芳平（安曇野市豊科近代美術館蔵）、  
藤島武二（文京ふるさと歴史館蔵）、  
高村光太郎（個人蔵）、  
中村不折

文京区立森鷗外記念館  
〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4  
電話：03-3824-5511  
<http://moriogai-kinenkan.jp>